

— CMRC研究会「相関電子と構造物性」 —

平成22年2月22日(月) 23日(火)  
高エネルギー加速器研究機構3号館1階会議室

2月22日(月)

12:50-13:00 村上洋一 (KEK-CMRC) はじめに

[磁性半導体] 座長：石原

13:00-13:25 吉田博 (阪大基礎工)

「半導体ナノスピントロニクスのマテリアルデザインと実証：Beyond LDA」

13:25-13:50 溝川貴司 (東大新領域)

「 $Ti_{1-x}Co_xO_2$ 表面における光誘起キャリアーと磁性不純物との相互作用」

[カイラルスピン系とその物性]

13:50-14:15 坂井徹 (原子力機構)

「スピンナノチューブのカイラリティ」

14:15-14:40 田口康二郎 (理研)

「六方晶フェライトにおける磁場誘起電気分極」

14:40-14:55 (Break)

[誘電体と同属物質] 座長：妹尾

14:55-15:20 小口多美夫 (広大先端物質)

「極性物質における相反的方向二色性」

15:20-15:45 石原純夫 (東北大理)

「電子型強誘電体の誘電性と磁気誘電性」

15:45-16:10 山崎裕一 (KEK-CMRC)

「マルチフェロイクス酸化物の電気磁気特性」

16:10-16:25 (Break)

[有機化合物] 座長：坂井

16:25-16:50 妹尾仁嗣 (理研)

「擬1次元分子性導体における多様な電荷・スピン・格子秩序」

16:50-17:15 小形正男 (東大理)

「異方的三角格子上での新奇スピン液体状態の探索」

17:15-17:40 岩野薫 (KEK-CMRC)

「放射光・中性子スペクトロスコピー —光誘起相転移の観点から—」  
17:40-18:05 熊井玲児（産総研）  
「有機強誘電体の温度-圧力による結晶構造変化と分極の起源」

## 懇親会

2月23日（火）

[f 電子系+カイラルスピン系] 座長：石原  
9:30-9:55 楠瀬博明（愛媛大理工）  
「f 電子系における多極子秩序の現状」  
9:55-10:20 堀田貴嗣（首都大理工）  
「ウラン化合物の強磁性発現と軌道揺らぎ超伝導」  
10:20-10:45 岩佐和晃（東北大理）  
「強相関 f 電子系の構造物性研究」（仮）  
10:45-11:10 岸根順一郎（九工大工）  
「偏極ビームで探る構造と磁性のカイラリティ」

11:10-11:25 (Break)

[フラストレーション系] 座長：岸根  
11:25-11:50 求幸年（東大工）  
「パイロクロア格子系のフラストレーションによる縮退とその解放」  
11:50-12:15 常次宏一（東大物性研）  
「フラストレート系におけるスピンネマティック秩序の理論」  
12:15-12:40 松田雅昌（原子力機構）  
「フラストレート磁性体 Cr スピネルにおけるスピン-格子相互作用」  
12:40-13:05 門野良典（KEK-CMRC）  
「Search for the origin of heavy quasi-particle states in frustrated metals」

13:05-13:10 石原純夫（東北大） おわりに

世話人：石原純夫、妹尾仁嗣、村上洋一